

2015年2月号 小島薬局漢方堂



パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます

つら〜い花粉症の季節、早めの対策が効果的！

2月は暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。この季節になると毎年辛いのが花粉症ですね。今年の花粉は例年に比べるとやや多い予想ですが、今までは平気でも花粉の量に関わらず突然発症するのが花粉症です。

漢方では花粉症は①バリア力不足(外側) ②“宿邪”(内側)による仕業が大きな原因と言われています。宿邪とは、体内に潜んでいる病邪(炎症物質・免疫複合体など)です。花粉症などのアレルギー疾患の方は慢性的に宿邪があり、体調や季節によって症状が発症すると考えています。つまり体質改善でバリア力をつけ、宿邪を取り除くことでより快適な春を迎えることができるのです。

漢方ではウイルスや細菌・花粉など体に侵入し、害を与えるものを“外邪”といいます。この外邪から、体を防衛する見えないバリアの役目をしているのが「衛気」です。「衛気」を補うには「衛益顆粒」や「松寿仙」などの漢方薬を使います。これらはバリア力を高める効果があるので、免疫機能が改善されてアレルギー反応が起こりにくくなり、花粉症の症状を軽くし、発症を予防します。シーズンの1~2ヶ月前から、お飲み下さい！！

宿邪にはいくつかの種類があり、症状によって漢方薬を使い分けることでより効果を発揮します。くしゃみ・水っぽい鼻水・水っぽい痰・鼻づまりなどの症状には、呼吸器を温める作用がある「小青竜湯」を併用します。逆に、体が熱っぽく、目・鼻・喉の粘膜が赤く腫れ、鼻水も黄色く粘っている症状には、アレルギーによる炎症などの熱をさます「涼解楽」や「香菊花」を使用します。抗アレルギー剤などの対症療法ではなく体質から改善しますし、眠たくなることもないので安心して服用していただけます。

花粉症でお悩みの方はお気軽にご相談下さいね！



花粉症にも松寿仙



松寿仙を飲んでいると、花粉症が楽になったというお話をよく聴かせていただけます。

その理由のひとつとして考えられるのは松寿仙によって血流が改善されたことにより体のバリア機能が強化されたということです。

空気と一緒に入ってきた花粉などのアレルギー物質は鼻の粘膜に付着し、絨毛によって粘液と一緒に外へ運ばれます。

松寿仙の抗酸化力や鼻の微小血管の血行促進により鼻の粘膜が強化され、花粉への過剰な反応が和らぎ花粉の排泄もスムーズになると考えられます。

また、鼻炎等のアレルギー体質には「冷え」も大きく関係しています。体温が1℃下がると免疫力は37%の機能低下がみられ、消化管機能も低下します。

松寿仙を飲んで、体を芯から温めることで、免疫力も回復し、花粉症の症状が楽になっていただけます。

病院のお薬で症状を和らげることは必要ですが、それと同時に松寿仙で根本治療や体質改善を進めるのが理想です。

松寿仙は化学薬品の肝臓や腎臓への副作用や負担軽減にも繋がります。

～～体験談～～

40代女性

冷えや胃腸虚弱で松寿仙を服用しています。



胃もスッキリしてきたのですが、春先に悩まされていた花粉の症状が楽になったのにはビックリしました。



アレルギーを持っている息子も飲むと調子がいいと言っています。



— 12本入り特別キャンペーン —



松寿仙をご愛飲くださっている皆様に感謝を込めて、再び12本入り1箱をご購入のお客様に大好評の栄村産のコシヒカリ1kgをプレゼントさせていただきます。今回も数に限りがございますので、なくなり次第終了をさせていただきます。